

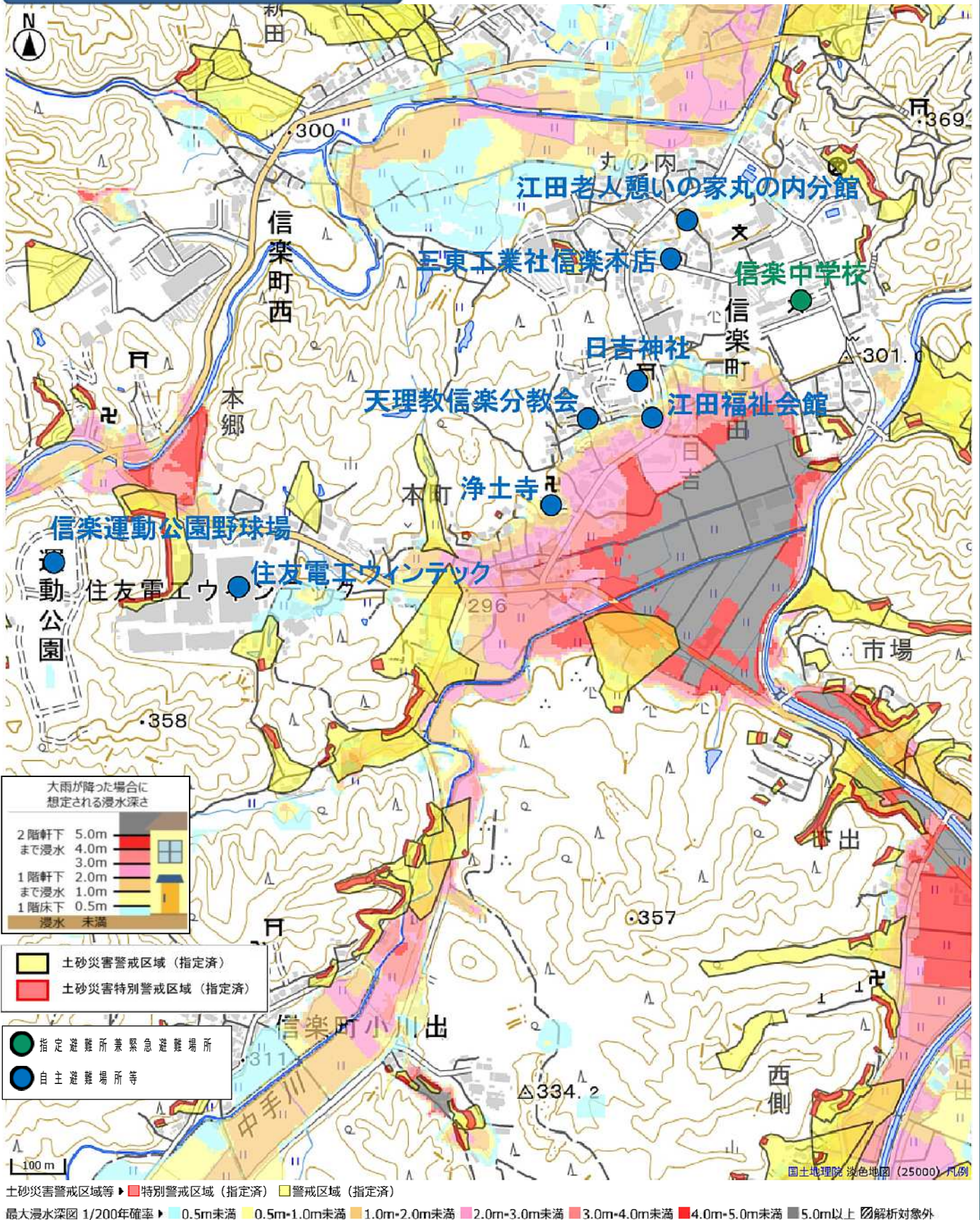
# 保存版

甲賀市信楽町江田区 本町地区  
水害・土砂災害に強い地域づくり計画  
概要版

# 甲賀市信楽町江田区 本町地区 水害・土砂災害に強い地域づくり計画 概要版

## 第1章 水害・土砂災害に強い地域づくり計画策定の必要性

### 江田区全体の水害・土砂災害リスク



# 甲賀市信楽町江田区 本町地区 水害・土砂災害に強い地域づくり計画 概要版

## 水害リスク

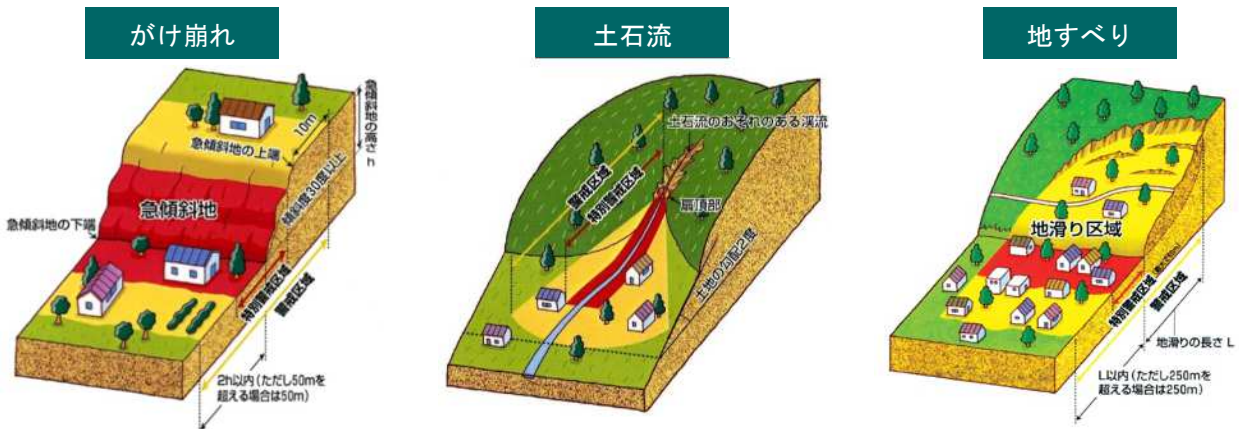
- ◆ 平成25年9月の台風18号では、全国で初めての大雨特別警報が発令され、2日間の降雨量は332mmと昭和28年の多羅尾豪雨に匹敵する大雨となりました。
- ◆ この大雨により、住宅の床上・床下浸水や田畑の広範囲にわたる冠水といった被害が生じました。
- ◆ 滋賀県の地先の安全度マップによれば、河川整備の水準を大きく超える200年に1回の頻度で発生する大雨では、一部の家屋で2階軒下近く(水深4~5m)まで水面が達する可能性があります。

## 土砂災害リスク

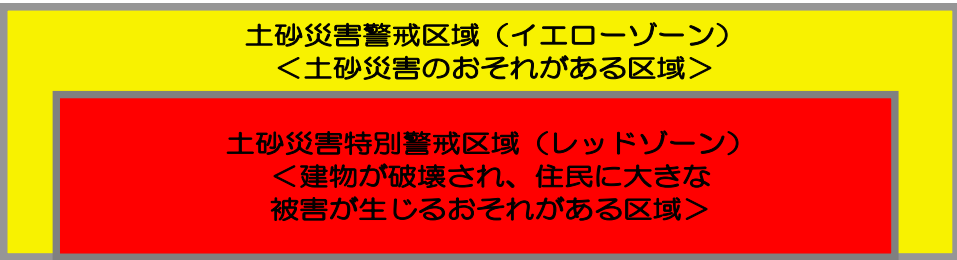
- ◆ 江田区南部の山沿いや北部の急傾斜地が土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域に指定されています。

### 土砂災害防止法に基づく区域指定

○こんな場所が対象になります。



○調査の結果により、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域を指定します。



## 計画策定の必要性

- ◆ 近年、滋賀県を含む全国各地で大雨や集中豪雨が頻発し、甚大な被害が発生。
- ◆ 江田区では大雨時に浸水、土砂災害のおそれがある住宅がある。
- ◆ 河川・砂防事業などハード面の整備を進めているが、整備に長期間を要し、さらに、今後計画を超過する災害が発生する可能性もある。

江田区  
水害・土砂災害に強い  
地域づくり計画

**そなえる  
対策**  
いつ起こるか分からない水害・土砂災害に避難やたすけあいで「そなえる」対策

**とどめる  
対策**  
10年後・20年後に江田区を水害・土砂災害に強い地域にするまちづくり・住まいづくりを考える「とどめる」対策

第II章 避難計画（そなえる対策）

近年、全国各地で大雨や集中豪雨が頻発し、甚大な被害が発生しています。  
江田区では、大戸川や信楽川、中手川の氾濫により、床上・床下浸水のおそれのある住宅があります。また、山際の一部の住宅では、裏山の崩落による土砂災害リスクもあります。  
いつ起こるかわからない水害や土砂災害に備えて、自宅のリスクや避難場所、避難するタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

○避難場所・避難のタイミングを確認

- ・防災マップで、自宅のリスクを確認し、下の表のあてはまる行に○を付けましょう。
- ・避難に時間のかかる方（お年寄り等）は、**高齢者等避難**、それ以外の方は**避難指示**が発令されたら信楽中学校へ避難しましょう。
- ・これらのタイミングで避難できなかった場合、マップの●印の場所や自宅2階への避難となりますので、ご自身の避難場所を確認しましょう。

自宅のリスク	家族の状況	避難のタイミング		
		高齢者等避難 発令	避難指示 発令	逃げ遅れたとき
浸水リスクあり(3m以上) ⇒2階床上浸水のおそれあり または 土砂災害特別警戒区域内 ⇒家屋倒壊のおそれあり	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いる</b>	信楽中学校へ避難	最寄りの●印の場所へ避難 (場所: )	自宅2階の少しでも高く 山とは反対の場所へ避難
	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いない</b>	信楽中学校へ避難	信楽中学校へ避難	自宅2階の少しでも高く 山とは反対の場所へ避難
浸水リスクあり(0.5m～3m) または 土砂災害警戒区域内	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いる</b>	信楽中学校へ避難	自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難	自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難
	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いない</b>	信楽中学校へ避難	信楽中学校へ避難	自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難
水害・土砂災害リスクなし	-	自宅待機	自宅待機	自宅待機

※「●印の場所」: 信楽中学校、江田福祉会館、天理教信楽分教会、浄土寺、住友電工ウインテック、信楽運動公園野球場

○そのほか、こんな避難も検討しましょう

**親戚・知人宅**  
親戚や友人の協力が得られる場合の避難先として

**車中泊**  
エコノミークラス症候群に注意を払いながら、安全な場所で車中泊を行う

※既に周囲の浸水が始まっているときは、車の避難はやめましょう!!

『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より

○避難するときに気をつけること～新型コロナウイルス感染症対策～

◆避難時の持ち物

あらかじめ準備している非常持出品に、**マスク、体温計、ビニール袋、アルコール消毒薬、ウエットティッシュなどの感染症対策用品**もそなえておきましょう。



◆避難所で気をつけたいこと

**体調不良者**  
体調不良者は、個室などへ移動し、感染拡大を防ぐ

**マスク着用**  
手洗いやマスクの着用等の感染症対策の徹底

**人との間隔保持**  
各家庭間で概ね2mの間隔の確保を

**健康チェック**  
保健師などの健康確認に応じる。セルフチェックも重要

『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より



**感染回避は大切ですが、まずはためらうことなく自分の命を守る行動を!**

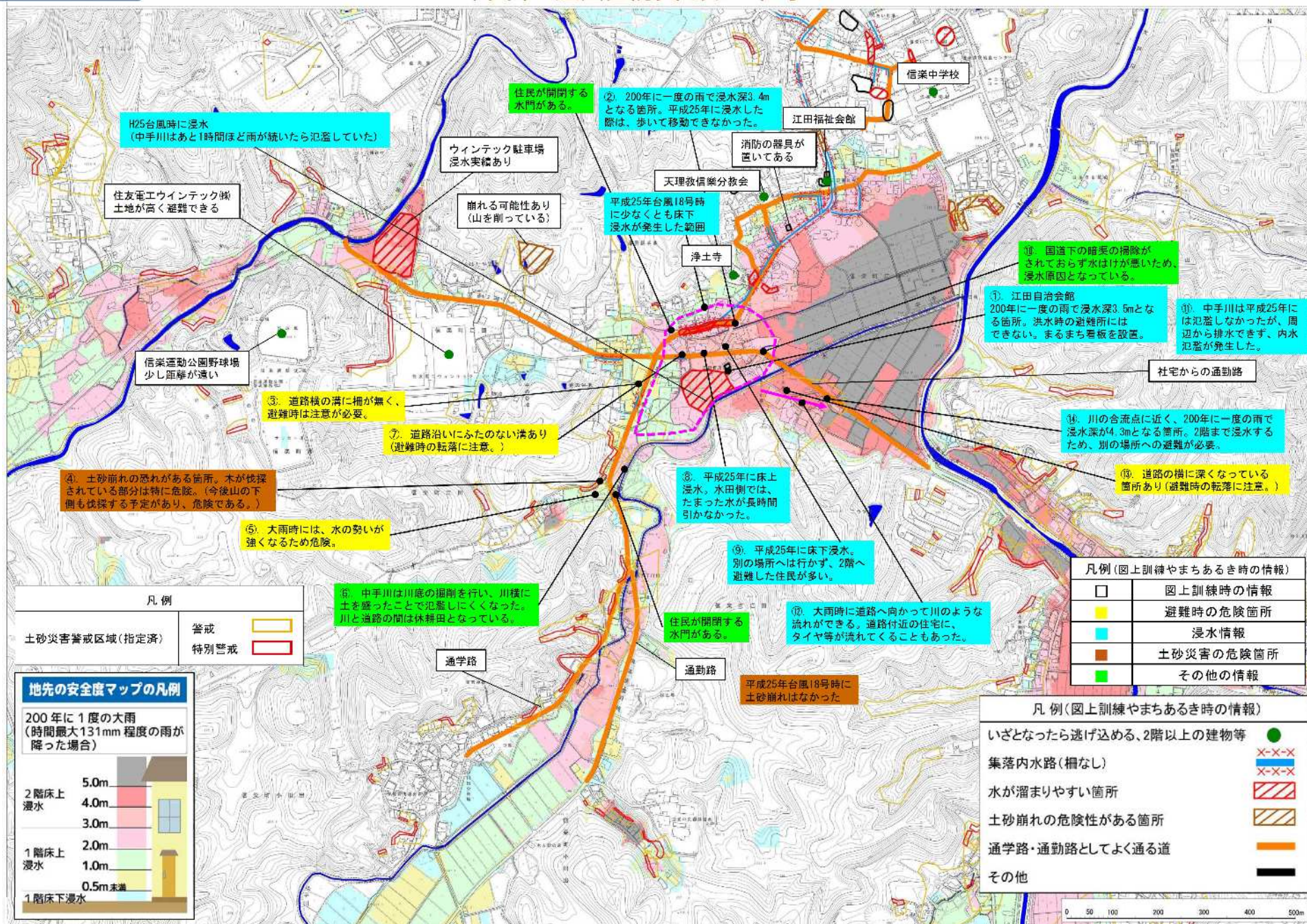
避難所での生活は、感染症をはじめプライバシーなどの不安もあるかもしれませんが、命が何より大切です。県や市町等からの正しい情報に基づき、できればご近所の方にも声をかけて、タイミングを逃すことなく避難してください。



『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より

防災マップ

甲賀市 江田区防災マップ 本町



H25台風時に浸水  
(中手川はあと1時間ほど雨が続いたら氾濫していた)

住友電工ウインテック株  
土地が高く避難できる

信楽運動公園野球場  
少し距離が遠い

④. 土砂崩れの恐れがある箇所。木が伐採  
されている部分は特に危険。(今後山の  
下側も伐採する予定があり、危険である。)

⑤. 大雨時には、水の勢いが  
強くなるため危険。

⑥. 中手川は川底の掘削を行い、川様に  
土を盛ったことで氾濫しにくくなった。  
川と道路の間は休耕田となっている。

住民が開閉する  
水門がある。

ウインテック駐車場  
浸水実績あり

崩れる可能性あり  
(山を削っている)

③. 道路横の溝に柵がなく、  
避難時は注意が必要。

⑦. 道路沿いにふたのない溝あり  
(避難時の転落に注意。)

②. 200年に一度の雨で浸水深3.4m  
となる箇所。平成25年に浸水した  
際は、歩いて移動できなかった。

平成25年台風18号時  
に少なくとも床下  
浸水が発生した範囲

消防の器具が  
置いてある

天理教信楽分教会

浄土寺

住民が開閉する  
水門がある。

通学路

通勤路

平成25年台風18号時に  
土砂崩れはなかった

⑩. 大雨時に道路へ向かって川のような  
流れができる。道路付近の住宅に、  
タイヤ等が流れてくることもあった。

⑨. 平成25年に床下浸水。  
別の場所へは行かず、2階へ  
避難した住民が多い。

⑧. 平成25年に床上  
浸水。水田側では、  
たまった水が長時間  
引かなかった。

⑪. 国道下の暗渠の掃除が  
されておらず水はけが悪いため、  
浸水原因となっている。

①. 江田自治会館  
200年に一度の雨で浸水深3.5mとな  
る箇所。洪水時の避難所には  
できない。まるまちは板を設置。

①. 中手川は平成25年  
には氾濫しなかったが、周  
辺から排水ができず、内水  
氾濫が発生した。

⑬. 川の合流点に近く、200年に一度の雨で  
浸水深が4.3mとなる箇所。2階まで浸水する  
ため、別の場所への避難が必要。

⑬. 道路の横に深くなっている  
箇所あり(避難時の転落に注意。)

社宅からの通勤路

凡例

土砂災害警戒区域(指定済)	警戒	
	特別警戒	

地先の安全度マップの凡例



凡例(图上訓練やまちあるき時の情報)

	图上訓練時の情報
	避難時の危険箇所
	浸水情報
	土砂災害の危険箇所
	その他の情報

凡例(图上訓練やまちあるき時の情報)

いざとなったら逃げ込める、2階以上の建物等	
集落内水路(柵なし)	
水が溜まりやすい箇所	
土砂崩れの危険性がある箇所	
通学路・通勤路としてよく通る道	
その他	



第II章 避難計画（そなえる対策）

近年、全国各地で大雨や集中豪雨が頻発し、甚大な被害が発生しています。  
 江田区では、大戸川や信楽川、中手川の氾濫により、床上・床下浸水のおそれのある住宅があります。また、山際の一部の住宅では、裏山の崩落による土砂災害リスクもあります。  
 いつ起こるかわからない水害や土砂災害に備えて、自宅のリスクや避難場所、避難するタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

○避難場所・避難のタイミングを確認

- ・防災マップで、自宅のリスクを確認し、下の表のあてはまる行に○を付けましょう。
- ・避難に時間のかかる方（お年寄り等）は、**高齢者等避難**、それ以外の方は**避難指示**が発令されたら信楽中学校へ避難しましょう。
- ・これらのタイミングで避難できなかった場合、マップの●印の場所や自宅2階への避難となりますので、ご自身の避難場所を確認しましょう。

自宅のリスク	家族の状況	避難のタイミング		
		高齢者等避難 発令	避難指示 発令	逃げ遅れたとき
浸水リスクあり(3m以上) ⇒2階床上浸水のおそれあり または 土砂災害特別警戒区域内 ⇒家屋倒壊のおそれあり	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いる</b>	信楽中学校へ避難	最寄りの●印の場所へ避難 (場所: )	自宅2階の少しでも高く 山とは反対の場所へ避難
	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いない</b>	信楽中学校へ避難		自宅2階の少しでも高く 山とは反対の場所へ避難
浸水リスクあり(0.5m~3m) または 土砂災害警戒区域内	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いる</b>	信楽中学校へ避難	自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難	自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難
	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いない</b>	信楽中学校へ避難		自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難
水害・土砂災害リスクなし	-	自宅待機	自宅待機	自宅待機

※「●印の場所」: 信楽中学校、江田福祉会館、日吉神社、天理教信楽分教会、浄土寺

○そのほか、こんな避難も検討しましょう

**親戚・知人宅**  
 親戚や友人の協力が得られる場合の避難先として

**車中泊**  
 エコノミークラス症候群に注意を払いながら、安全な場所で車中泊を行う

※既に周囲の浸水が始まっているときは、車の避難はやめましょう!!

『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より

○避難するときに気をつけること～新型コロナウイルス感染症対策～

◆避難時の持ち物

あらかじめ準備している非常持出品に、**マスク、体温計、ビニール袋、アルコール消毒薬、ウエットティッシュなどの感染症対策用品**もそなえておきましょう。



◆避難所で気をつけたいこと

**体調不良者**  
 体調不良者は、個室などへ移動し、感染拡大を防ぐ

**マスク着用**  
 手洗いやマスクの着用等の感染症対策の徹底

**人との間隔保持**  
 各家庭間で概ね2mの間隔の確保を

**健康チェック**  
 保健師などの健康確認に応じる。セルフチェックも重要

『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より



**感染回避は大切ですが、まずはためらうことなく自分の命を守る行動を!**

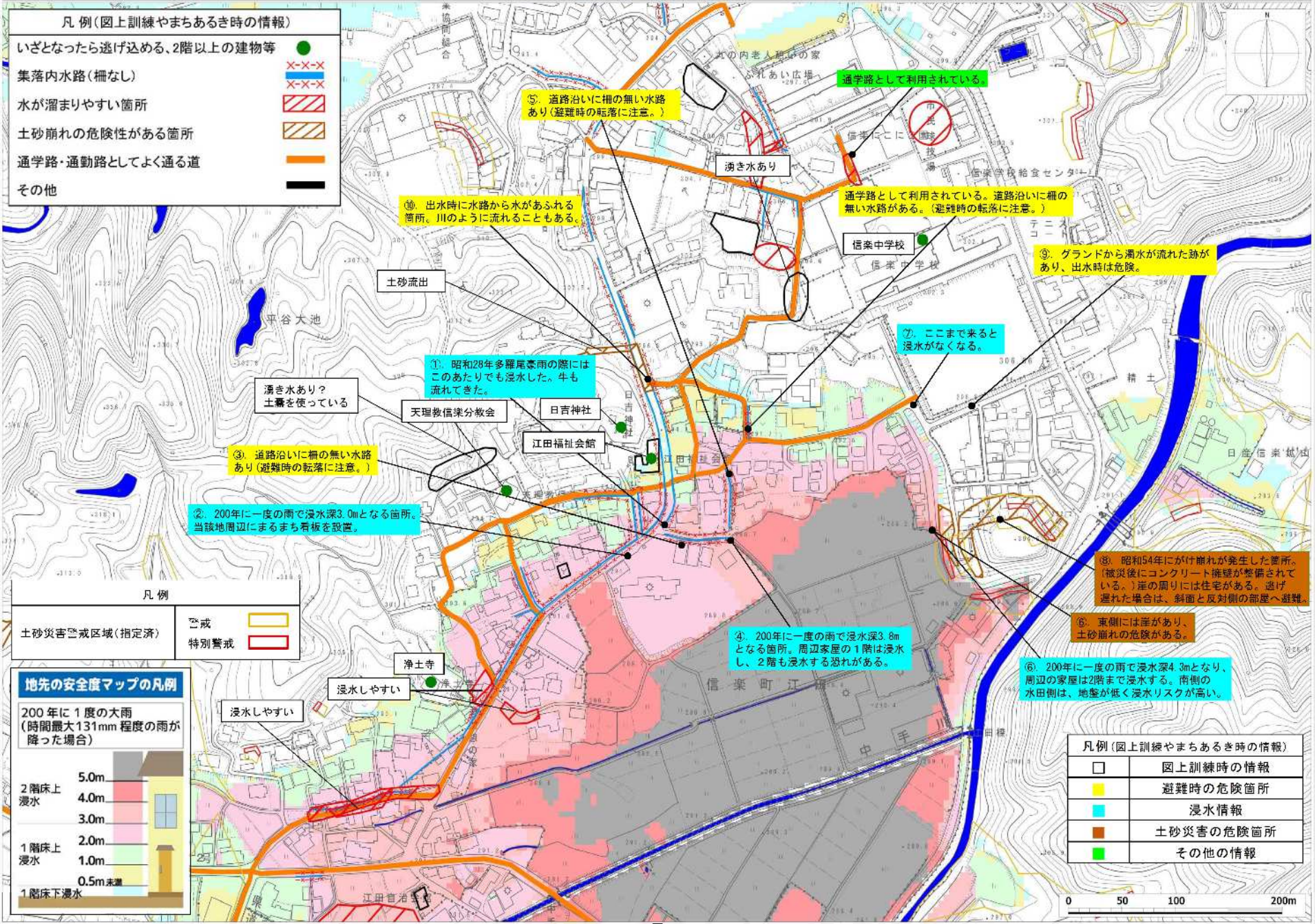
避難所での生活は、感染症をはじめプライバシーなどの不安もあるかもしれませんが、命が何より大切です。  
 県や市町等からの正しい情報に基づき、できればご近所の方にも声をかけて、**タイミングを逃すことなく避難**してください。



『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より

防災マップ

甲賀市 江田区防災マップ 日吉町



凡例 (図上訓練やまちあるき時の情報)

いざとなったら逃げ込める、2階以上の建物等	●
集落内水路(柵なし)	X-X-X
水が溜まりやすい箇所	斜線
土砂崩れの危険性がある箇所	斜線
通学路・通勤路としてよく通る道	太線
その他	太線

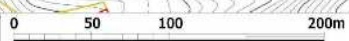
凡例

土砂災害警戒区域(指定済)	○
特別警戒	□



凡例 (図上訓練やまちあるき時の情報)

□	図上訓練時の情報
■	避難時の危険箇所
■	浸水情報
■	土砂災害の危険箇所
■	その他の情報



第II章 避難計画（そなえる対策）

近年、全国各地で大雨や集中豪雨が頻発し、甚大な被害が発生しています。  
江田区では、大戸川や信楽川、中手川の氾濫により、床上・床下浸水のおそれのある住宅があります。また、山際の一部の住宅では、裏山の崩落による土砂災害リスクもあります。  
いつ起こるかわからない水害や土砂災害に備えて、自宅のリスクや避難場所、避難するタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

○避難場所・避難のタイミングを確認

- ・防災マップで、自宅のリスクを確認し、下の表のあてはまる行に○を付けましょう。
- ・避難に時間のかかる方（お年寄り等）は、**高齢者等避難**、それ以外の方は**避難指示**が発令されたら信楽中学校へ避難しましょう。
- ・これらのタイミングで避難できなかった場合、マップの●印の場所や自宅2階への避難となりますので、ご自身の避難場所を確認しましょう。

自宅のリスク	家族の状況	避難のタイミング		
		高齢者等避難 発令	避難指示 発令	逃げ遅れたとき
浸水リスクあり(3m以上) ⇒2階床上浸水のおそれあり または 土砂災害特別警戒区域内 ⇒家屋倒壊のおそれあり	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いる</b>	信楽中学校へ避難	最寄りの●印の場所へ避難 (場所: )	自宅2階の 山とは反対の場所へ避難
	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いない</b>	信楽中学校へ避難		自宅2階の 山とは反対の場所へ避難
浸水リスクあり(0.5m~3m) または 土砂災害警戒区域内	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いる</b>	信楽中学校へ避難	自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難	自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難
	お年寄り等、避難に時間のかかる人が <b>いない</b>	信楽中学校へ避難		自宅2階の 山とは反対の部屋へ避難
水害・土砂災害リスクなし	-	自宅待機	自宅待機	自宅待機

※「●印の場所」: 信楽中学校、江田老人憩いの家丸の内分館、三東工業社信楽本店

○そのほか、こんな避難も検討しましょう

**親戚・知人宅**  
親戚や友人の協力が得られる場合の避難先として

**車中泊**  
エコノミークラス症候群に注意を払いながら、安全な場所で車中泊を行う

※既に周囲の浸水が始まっているときは、車の避難はやめましょう!!

『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より

○避難するときに気をつけること～新型コロナウイルス感染症対策～

◆避難時の持ち物

あらかじめ準備している非常持出品に、**マスク、体温計、ビニール袋、アルコール消毒薬、ウエットティッシュなどの感染症対策用品**もそなえておきましょう。



◆避難所で気をつけたいこと

**体調不良者**  
体調不良者は、個室などへ移動し、感染拡大を防ぐ

**マスク着用**  
手洗いやマスクの着用等の感染症対策の徹底

**人との間隔保持**  
各家庭間で概ね2mの間隔の確保を

**健康チェック**  
保健師などの健康確認に応じる。セルフチェックも重要

『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より



**感染回避は大切ですが、まずはためらうことなく自分の命を守る行動を!**

避難所での生活は、感染症をはじめプライバシーなどの不安もあるかもしれませんが、命が何より大切です。  
県や市町等からの正しい情報に基づき、できればご近所の方にも声をかけて、タイミングを逃すことなく避難してください。

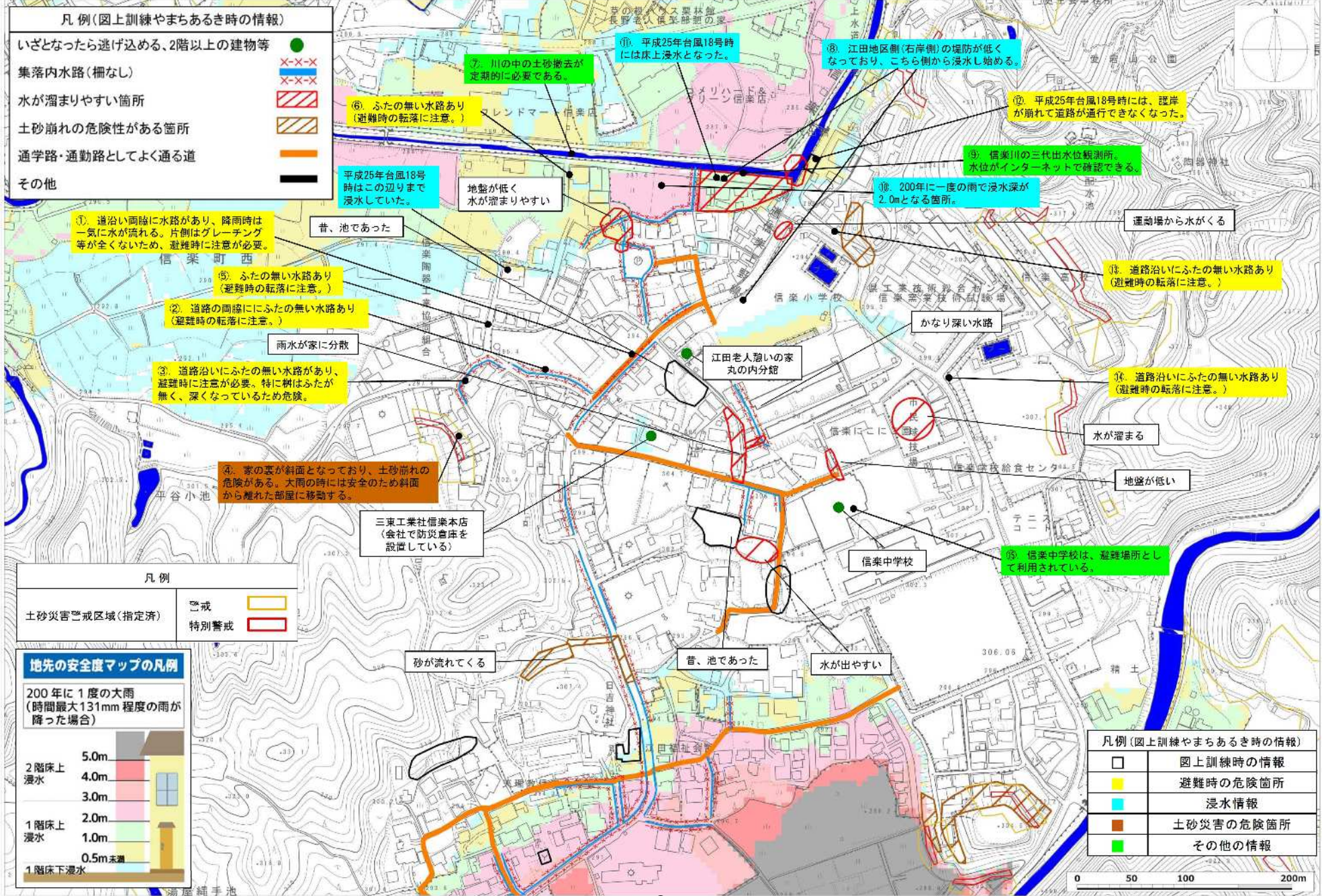


『広報誌滋賀プラスワン 令和2年(2020年)7・8月号』より



防災マップ

甲賀市 江田区防災マップ 丸の内



凡例 (図上訓練やまちあるき時の情報)

いざとなったら逃げ込める、2階以上の建物等	●
集落内水路(柵なし)	×-×-×
水が溜まりやすい箇所	斜線
土砂崩れの危険性がある箇所	斜線
通学路・通勤路としてよく通る道	太線
その他	太線

- ①. 道沿い両側に水路があり、降雨時は一気に水が流れる。片側はグレーチング等が全くないため、避難時に注意が必要。
- ②. 道路の両側にふたの無い水路あり(避難時の転落に注意。)
- ③. 道路沿いにふたの無い水路があり、避難時に注意が必要。特に樹はふたが無く、深くなっているため危険。
- ④. 家の裏が斜面となっており、土砂崩れの危険がある。大雨の時には安全のため斜面から離れた部屋に移動する。
- ⑤. ふたの無い水路あり(避難時の転落に注意。)
- ⑥. ふたの無い水路あり(避難時の転落に注意。)
- ⑦. 川の中の土砂除去が定期的に必要である。
- ⑧. 江田地区側(右岸側)の堤防が低くなっており、こちら側から浸水し始める。
- ⑨. 信楽川の三代出水位観測所。水位がインターネットで確認できる。
- ⑩. 200年に一度の雨で浸水深が2.0mとなる箇所。

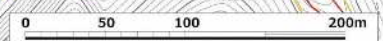
凡例

土砂災害警戒区域(指定済)	警戒	黄色
	特別警戒	赤色



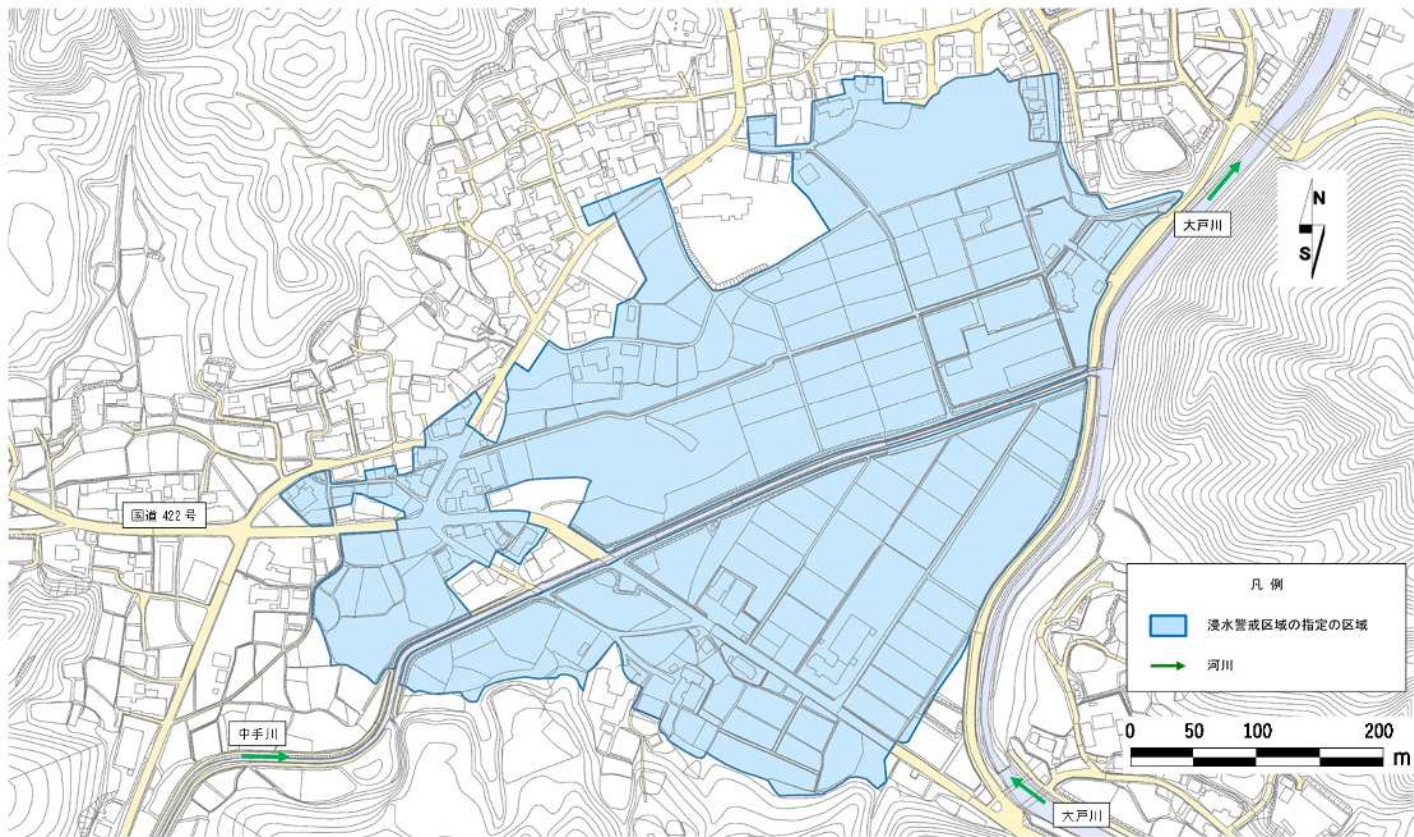
凡例 (図上訓練やまちあるき時の情報)

□	図上訓練時の情報
■	避難時の危険箇所
■	浸水情報
■	土砂災害の危険箇所
■	その他の情報



第III章 安全な住まい方のルール（とどめる対策）

浸水警戒区域(素案)



※青塗り図は、甲賀市都市計画図(白図)を使用している。

浸水警戒区域制度

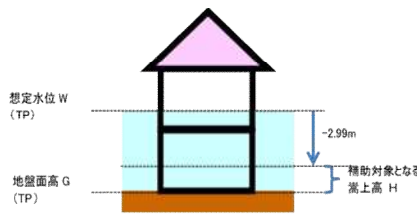
◆滋賀県では「地先の安全度マップ」で想定浸水深がおおよそ3m以上となる範囲を浸水警戒区域として順次指定しています。

◆指定された区域内で建物の新築・増築・改築をする時には、流域治水条例に基づき、水害時に逃げ場所のある安全な家であることの確認を受けてから、建築する必要があります。

宅地嵩上げ浸水対策促進事業

◆「浸水警戒区域」内の既存住宅で、安全な逃げ場所がない、もしくは浸水しても耐えられる丈夫さがないお宅には、住宅の改築(建て替え)および増築時に、地盤の嵩上げ(盛土、法面保護)工事、RC造、ピロティ化等工事の費用を助成します。

項目	算出式	金額
A. 補助上限額		4,000,000円
B. 標準工事費	下記の条件により算出した標準工事費×1/2 ・工法:土盛り工法 (なお、嵩上げのみを実施する場合は専家を含む) ・面積:補助する建築物の建物面積の2倍 ・高さ:想定水位-2.99m-地盤高標高	想定水位および既存建物面積により算定する額
C. 申請者の見積額	※嵩上げ等に係る経費分×1/2	見積額×1/2
補助額		A,B,Cの最小値



安全な避難空間の確保

- ◆逃げ場所のある家とするには、以下に示すように、盛土を施す、バルコニーを作る、基礎を高くするなどの方法があります。想定水位より下の部分は、浸水しても耐えられる丈夫さも求められます。
- ◆今すぐ行うことは難しいですが、住んでいる家の建て替えなどに合わせて、2階床面の高さを「地先の安全度マップ」の想定水位より高くし、逃げ場所のある家となるようにしていきましょう。

